

緊急連絡/安否確認システム
「エマージェンシーコール®」
— 新型インフルエンザ対策 —
第3.1版

2009年 5月
インフォコム株式会社
サービスビジネス部 営業グループ

新型インフルエンザの基礎知識

新型インフルエンザとは？

新型インフルエンザウイルスとは、動物のインフルエンザウイルスが、人の体内で増えることができるように変化し、人から人へと容易に感染できるようになったもので、このウイルスが感染して起こる疾患を新型インフルエンザといいます

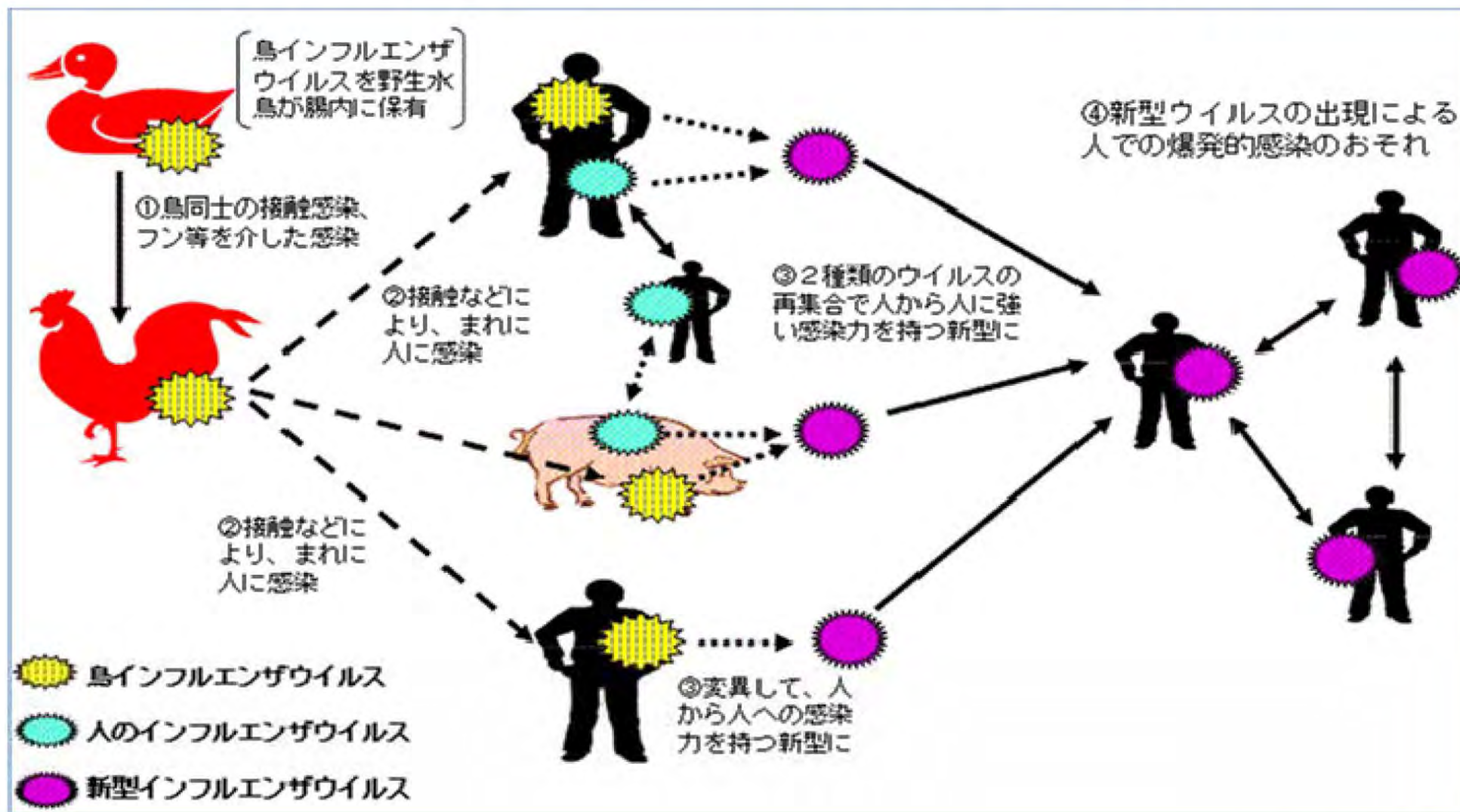
今般、メキシコや米国等で確認された豚インフルエンザ (H1N1) を感染症法第6条第7号に規定する新型インフルエンザ等感染症に位置づけたところです。

厚生労働省ホームページ新型インフルエンザに関するQ& Aより)

厚生労働省ホームページ：

<http://www-bm.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/>

鳥、豚インフルエンザと新型インフルエンザの関係



出典：厚生労働省

WHOによるパンデミックインフルエンザ警報フェーズ

	状況	フェーズ
パンデミック間期	ヒト感染のリスクは低い	1
動物間に新しい亜型ウイルスが存在するがヒト感染はない	ヒト感染のリスクはより高い	2
パンデミックアラート期 新しい亜型ウイルスによるヒト感染発生	ヒトヒト感染は無いが、または極めて限定されている	3
	ヒトヒト感染が増加していることの証拠がある	4
	かなりの数のヒトヒト感染があることの証拠がある	5
パンデミック期	効率よく持続したヒトヒト感染が確立	6

パンデミック (pandemic) とは、ある感染症や伝染病が世界的に大流行すること

WHOによる「世界インフルエンザ事前対策計画 (WHO global influenza preparedness plan)」における警報フェーズより

職場における感染リスクを下げする方法

目的	区分	対策例
感染機会の減少	全般	・在宅勤務
	通勤	・時差出勤 ・自家用車、徒歩、自転車等による出勤
	外出時	・出張や社外での会議の中止
職場での感染拡大の防止	感染者を入れない	・出勤前の体温測定や出勤時の問診 ・訪問者の立ち入り制限
	接触距離を保つ	・会議の開催抑制や、お互いに離れての会議 ・職場や食堂等の配置換え、食堂等の時差利用 ・電話、メール、FAX テレビ会議ツール等の活用
	感染を防ぐ	・マスク着用、咳エチケット ・手洗い、手指の消毒励行 ・職場の清掃、消毒

新型インフルエンザの対策 —事業継続計画策定の留意点—

BCPにおける地震災害と新型インフルエンザの相違

項目	地震被害	新型インフルエンザ
事業継続方針 (考え方)	出来る限りの事業の継続・早期復旧を図る	感染リスク、社会的責任、経営面を勘案し、事業継続のレベルを決める
被害の対象	主として、施設・設備等、社会インフラへの被害が大きい	主として人に対する被害が大きい
地理的な影響範囲	限定的（地域的、局所的） 代替施設での操業や取引が可能、他からの支援が可能	国内全域、全世界的 代替施設での操業や、取引事業者間補完が困難
発生時期	兆候がなく、突発的に発生	海外発生の場合には、国内発生までの準備が可能
被害の期間	最初の地震が最大被害、余震の期間が一定期間 (過去事例から影響想定が可能)	第一波の期間が約8週間、その後の第二波も考えられ、長期化する可能性 (不確実性が高く、予想が困難)

人的被害のシナリオ

発症率	25%
致死率	0.5～2.0%
従業員の欠勤率	20～40%
欠勤期間	10日間程度



欠勤者が増えた場合に備え、代替要員を確保する

複数班による交代勤務制（スプリットチーム制）
経営トップの交代勤務制
家族の状況による欠勤の可能性増大の検討

情報の収集と連絡体制整備

一般的な情報 国 厚生労働省、外務省等)、地方自治体、WHO等から入手する
新型インフルエンザの発生状況
新型インフルエンザの概要

社内の情報 従業員から入手する

従業員の連絡先
学校や保育施設に通う子供の有無
要介護の家族の有無
その他支援の必要性の有無
従業員の直近の海外渡航状況

その他の情報 取引先から入手する
新型インフルエンザ発生時にサプライチェーンが機能するか
どの業務をどの程度継続するか

ご自宅に連絡をして、ご家族に対策を連絡する必要がある場合もあります。

⇒メールだけでは連絡出来ません。電話連絡機能が必要となります。

社員の状況に応じて、繰り返し連絡する必要がある場合もあります。

⇒緊急連絡を行った社員の中から、ある条件で絞り込んだ社員へ対し、別の内容の緊急連絡を行うこと（二次緊急連絡）が必要となります。

社員全員の行動変容が重要です

- (1)正しい知識を習得し、社員へ教育し、社内周知させる。
- (2)現時点から始められる感染予防策を決める。
- (3)経営者や、担当管理者が、率先して感染予防策を実践する。
- (4)新型インフルエンザ発生時に的確な行動をとれるように、訓練を立案実施し、新型インフルエンザに対する社員の意識を高める。

エマージェンシーコール®の活用

エマージェンシーコールとは

本システムは、大規模災害/新型インフルエンザ発生時など緊急時における事業継続計画の初動フェーズで必要な、

事業継続計画のスムーズな発動
大規模災害、緊急時での情報伝達、収集
事業継続計画 (BCP) におけるステークホルダーの信頼

などの問題点を解決できる緊急連絡 安否確認システムです。
本システムでは、

社員への一斉安否確認発報
安否集計、状況把握、要員参集
重要業務復旧に必要な情報収集、管理

など、強力にお客様の事業継続を支援します。

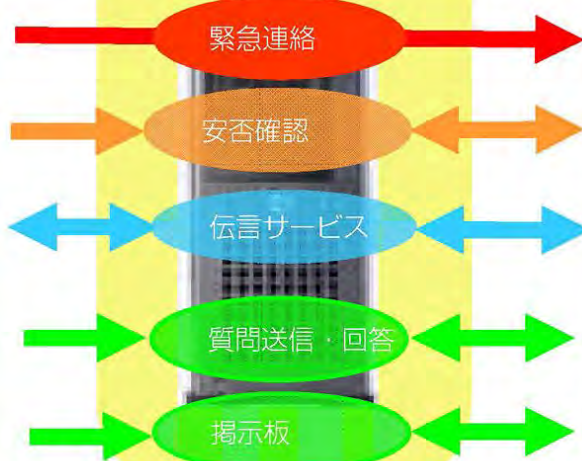
エマージェンシーコールの機能

・1人当たり最大で10個（8種類の通信媒体）の緊急連絡先へ、公衆回線網やインターネット網を活用し、**緊急連絡 安否確認**を行います。 ※通信キャリア（携帯電話、PHS）の壁はありません。

総務／災害対策者／社員



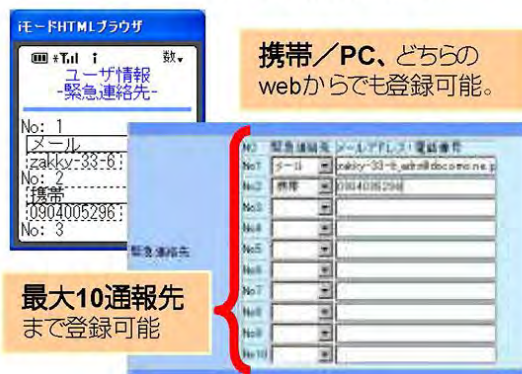
エマージェンシーコール®



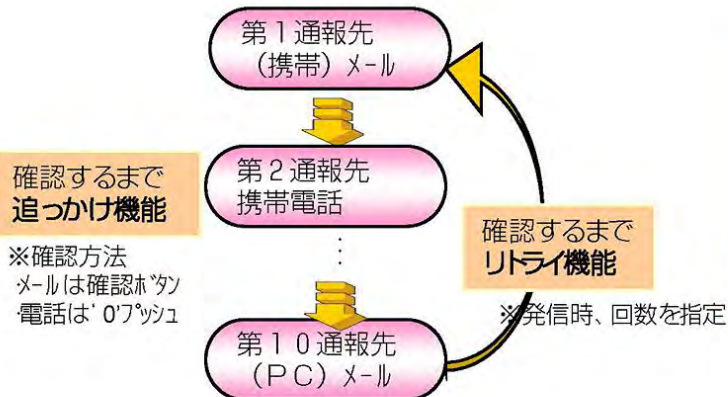
社員／社員の家族



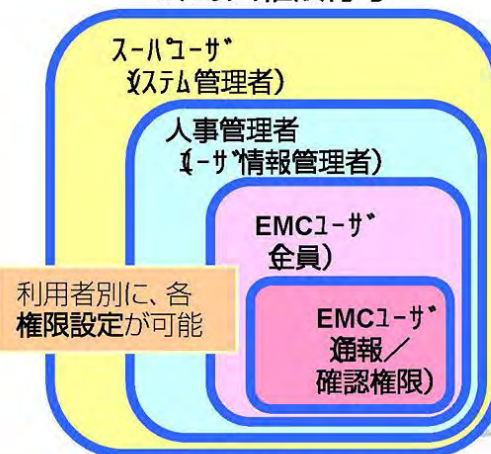
連絡先情報登録



連絡ルール



セキュリティ権限付与



各発生段階におけるエマージェンシーコールでの対応

前段階 未発生期

情報収集や連絡体制を整える
感染防止策や行動計画の普及啓発



第一段階 海外発生期

海外勤務者、出張者の確認
海外渡航者の確認

第二段階 国内発生早期

社員の健康状態の把握
社員への注意喚起



第三段階 感染拡大期、まん延期、回復期

- 社員とその家族の感染状況の把握
- 支援の必要性の有無について情報収集



第四段階 小康期

- 発症した社員の治癒状況の把握
- 治癒した社員への就業に関する指示

前段階：未発生期

情報収集や連絡体制を整える



社員

No	媒体	連絡先
1	メール	emc@example.ne.jp
2	携帯電話	080-0000-0000
3	固定電話	03-1234-5678
4	FAX	03-0000-0000
5		
6	メール	
7	固定電話	
8	携帯電話	
9	FAX	
10		

最大10件の連絡先登録
豊富な連絡媒体
組織、グループ管理

人事情報

氏名

所属部署

役職、グループ

← 非公開

← 公開

感染防止策や行動計画の普及啓発



管理者

掲示板

<感染防止>

- 咳エチケット
- 手洗い／うがい
- マスクの着用

<行動計画>

- 第一段階...
- 第二段階...

社員は確認したのかな？

連絡確認 -通常-

- 開始日時: 2009/01/27 17:55
- タイトル: 新型インフルエンザ対策の理解
- 確認状態: 未確認
- メッセージ: 当社の新型インフルエンザ対策の内容についてご理解頂けたら、確認ボタンを押してください。
- 連絡者: [虎谷 顕子]

確認

第二段階：国内発生期

社員の健康状態の把握



社員への注意喚起



<社員から収集すべき情報>

学校や保育施設に通う子供の有無 / 要介護の家族の有無 / その他支援の必要性の有無 …

一日三回の社員体調管理通報

社員の細かな体調管理が必要になります。

<<体調管理をしないと>>

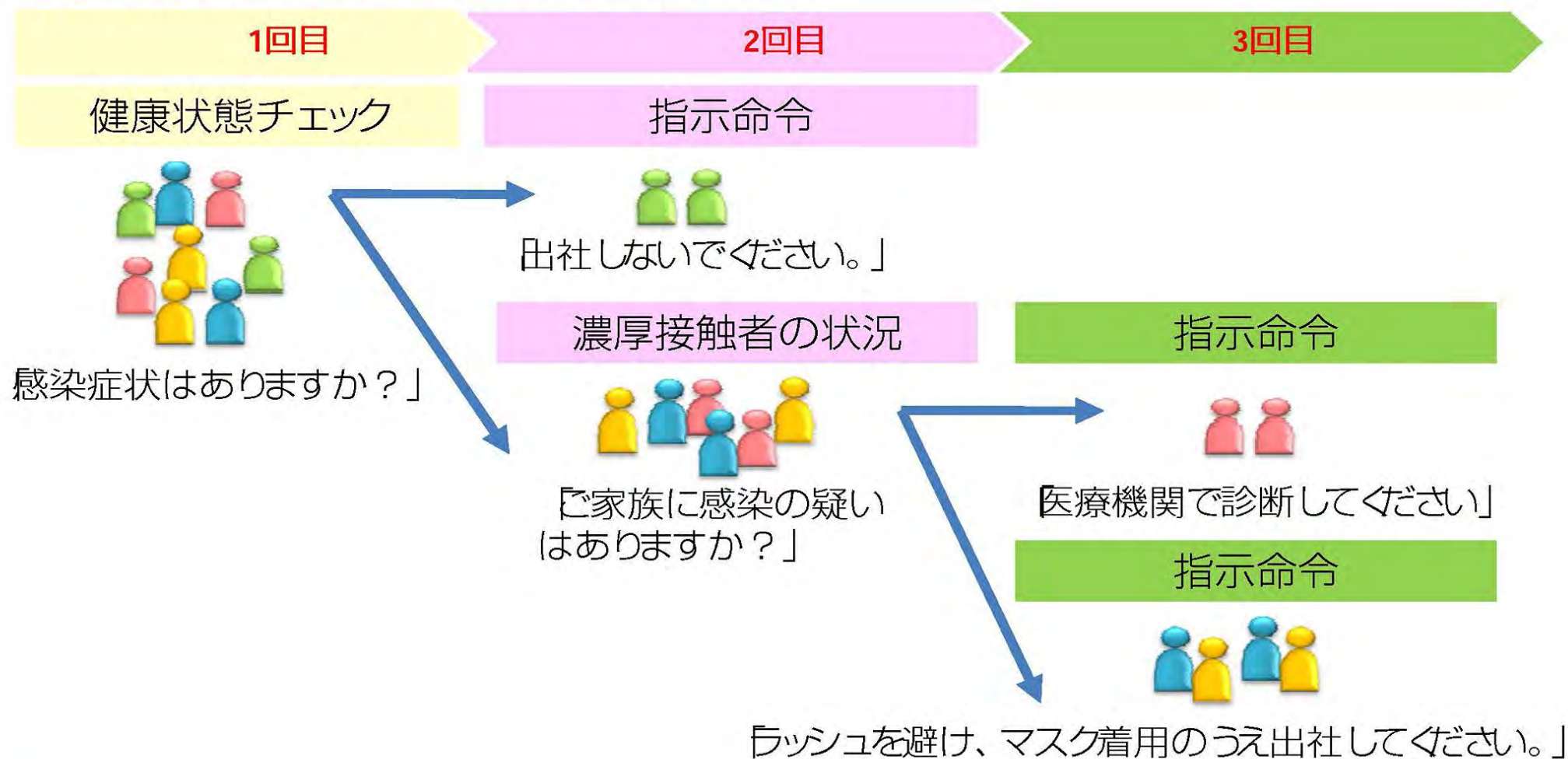
発症者が出社し、インフルエンザウィルスを社内にまき散らし、健康な人が感染していき、業務が続けられなくなります。



エマージェンシーコールの予約通報機能により、管理者はタイマーセットするだけで決まった日時に通報が自動実行されます。管理者の負担を大幅に削減できます。

※連絡ツール検討の留意点 (1)

◆繰り返し連絡ができることが重要！



※連絡ツール検討の留意点 (2)

◆あらゆる媒体が利用できることが重要！

社員の方が感染



ご家族の方に登録して頂く



会社にいるとは限らない



いつでも どこでも！



状況に応じて、
使える媒体は違う！

エマージェンシーコールを使った 社員体調管理、一斉連絡

エマージェンシーコールでは、質問付き通報機能を利用することで、
「症状確認の緊急実施」と「感染者の出勤に関する注意」等を行うことができます。

今回で紹介する例は、あくまで当社の検討段階のサンプルであるため、
もしご利用される際は、その点を充分ご考慮のうえ、ご利用ください。

質問付き通報の実施方法

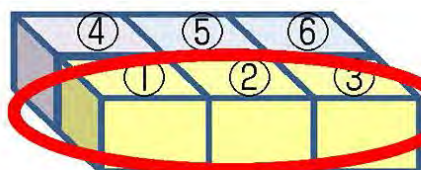
質問付き通報を実施するためには、事前に質問内容を作成しておく必要があります。

STEP 1 : 質問内容の作成



質問内容を
事前に作成
します。

質問作成

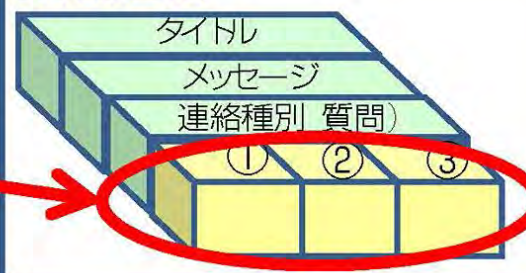


付加

STEP 2 : 質問付き通報の実施



緊急連絡



連絡内容に
事前に作成した
質問内容を付加し
連絡を実施します。

質問項目①

回答種別	メッセージ／数字／選択
質問内容	

連絡内容

タイトル	
連絡内容	
連絡種別	通常／安否／ 質問
質問項目	①+②+③+

簡単に体調を報告可能

通報メッセージ (メール)

総務部より連絡します。
WHOおよび厚生労働省より
北米・メキシコにて
豚インフルエンザ発生情報の発
表がありました。
新型インフルエンザ発生を考慮
し、全社員の体調管理に関する
緊急確認を行います。
各自、症状チェック項目にお答
え願います。

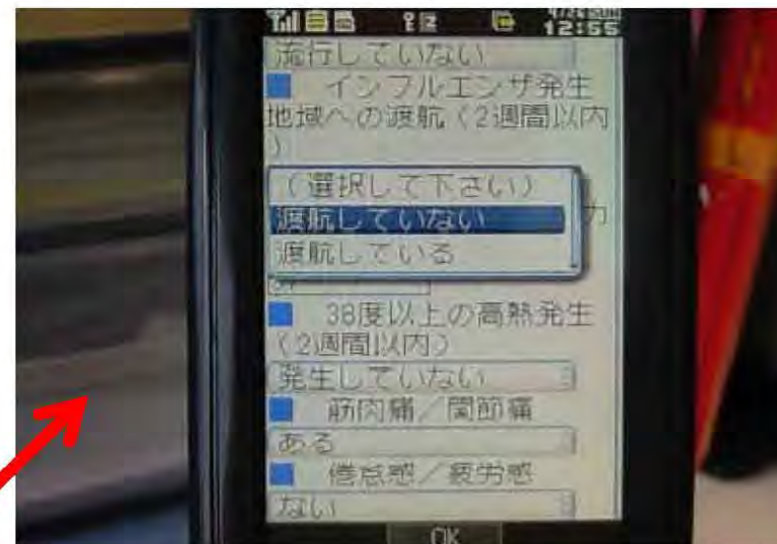
※下記URL・電話番号から質問
回答を行ってください。

※後で質問回答される方は、こ
のメールを返信してください。

URL: <https://emc-call.jp/demo/>

TEL: 0123456789

携帯画面



電話向けに通報を実施すると下記のようにガイダンスが再生され、押しボタンで回答します。

「インフルエンザ発生地域へ2週間以内に渡航した方は0を渡航していない方は1を押して下さい」

定型通報サンプル 1 症状確認の緊急実施

タイトル	【インフルエンザ】症状確認の緊急実施
メッセージ	○△□株式会社、人事総務部より連絡します。 WHOおよび厚生労働省より、インドネシアにて 新型インフルエンザ発生情報の発表がありました。 よって、インフルエンザに関する緊急確認を行います。 各自、症状チェック項目にお答え願います。
質問項目※1	1.現在滞在中の地域(記入例:東京都 渋谷区 神宮前) 2.滞在中の地域内でのインフルエンザの流行状況 3.インフルエンザ発生地域への渡航(2週間以内) 4.38度以上の高熱発生(2週間以内) 5.筋肉痛／関節痛 6.倦怠感／疲労感 7.現在の体温(数字入力) 8.質問がある場合は、ご記入ください

質問内容

質問 sample 1		
回答種別	メッセージ入力方式	
質問内容	現在滞在中の地域 記入例 東京都 渋谷区 神宮前)	
音声ガイダンス	現在滞在されている地域はどちらになりますか？ メッセージを録音してください。	

質問 sample2		
回答種別	選択式	
質問内容	滞在中の地域内でのインフルエンザの流行状況	
音声ガイダンス	現在滞在されている地域内でインフルエンザは流行していますか？ 流行していない場合は、0を、流行している場合は、1を、 押してください。	
回答選択肢	トーン	状況
	0	流行していない
	1	流行している

質問内容

質問 sample5		
回答種別	選択式	
質問内容	38度以上の高熱発生 (2週間以内)	
音声ガイダンス	過去2週間以内に、38度以上の高熱は発生していませんか？ 38度以上の高熱が発生していない場合は、0を、 38度以上の高熱が発生している場合は、1を、押して下さい。	
回答選択肢	トーン	状況
	0	発生していない
	1	発生している

質問 sample6		
回答種別	選択式	
質問内容	筋肉痛／関節痛	
音声ガイダンス	筋肉痛や間接痛はありますか？ 筋肉痛や間接痛が無い場合は、0を、 筋肉痛や間接痛が有る場合は、1を、押して下さい。	
回答選択肢	トーン	状況
	0	ない
	1	ある

質問内容

質問 sample7		
回答種別	選択式	
質問内容	倦怠感／疲労感	
音声ガイダンス	倦怠感や疲労感がありますか？ 倦怠感や疲労感が無い場合は、0を、 倦怠感や疲労感がある場合は、1を、押してください。	
回答選択肢	トーン	状況
	0	ない
	1	ある

質問 sample8	
回答種別	メッセージ入力方式
質問内容	質問がある場合は、ご記入ください。
音声ガイダンス	質問があるかたは、メッセージをどうぞ。

質問内容

質問 sample3		
回答種別	選択式	
質問内容	インフルエンザ発生地域への渡航 (2週間以内)	
音声ガイダンス	過去 2週間以内に、インフルエンザ発生地域へ渡航しましたか？ インフルエンザ発生地域へ渡航していない場合は、0を、 インフルエンザ発生地域へ渡航している場合は、1を、押してください。	
回答選択肢	トーン	状況
	0	渡航していない
	1	渡航している

質問 sample4	
回答種別	数字入力方式
質問内容	現在の体温(数字入力)
音声ガイダンス	現在の体温につて、数字をプッシュしてお知らせください。

定型通報サンプル2 感染者の出社に関する注意

タイトル	【インフルエンザ】感染者の出社に関する注意
メッセージ	○△□株式会社、人事総務部より、インフルエンザに感染した社員の皆様に連絡します。 インフルエンザが完治しましたら、診察を受けた医療機関より「治癒証明書」を発行して頂き、 出社される前に、必ず人事総務部まで、送付してください。
質問項目※1	1.連絡のご理解

質問内容

質問 sample1		
回答種別	選択式	
質問内容	連絡内容のご理解	
音声ガイダンス	この度の連絡内容について、 ご理解いただけた方は、0を、 わからない方は、1を、 質問事項等があり 再度ご説明の連絡が欲しい方は、2を、押してください	
回答選択肢	トーン	状況
	0	理解した
	1	わからない
	2	質問等があり再度連絡が欲しい

参考

参考文献

【東京都新型コロナウイルス対策行動計画】 東京都 平成 17 年 12 月

【中小企業のための新型コロナウイルス対策ガイドライン】 東京商工会議所 平成 20 年 10 月

【新型コロナウイルス行動計画】 新型コロナウイルスに関する関係省庁対策会議 平成 20 年 11 月

【新型コロナウイルス対策ガイドライン】 新型コロナウイルスに関する関係省庁対策会議 平成 20 年 11 月

参考ホームページ

内閣官房

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/index.html>

金融庁

<http://www.fsa.go.jp/news/18/sonota/20060830-2.html>

外務省

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kansen/influenza/index.html>

文部科学省

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/17/11/05112500.htm

厚生労働省

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>

経済産業省

<http://www.meti.go.jp/press/20070327007/20070327007.html>

農林水産省

<http://www.aff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

国土交通省

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/15/150325_.html

海上保安庁

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/security/index.html>

環境省

http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/index.html

東京都

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/kansen/infuruenza/>

東京商工会議所

<http://www.tokyo-cci.or.jp/kaito/teigen/2008/201031.html>

国立感染症研究所

<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

インフォコム株式会社
サービスビジネス部
営業グループ

[Tel:03-6866-3470](tel:03-6866-3470)

Mail:emc-info@infocom.co.jp

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-34-17 住友不動産原宿ビル11階

詳しい製品説明、及びデモンストレーションも承ります。